

R7 採択事業名：道の駅“まちのにぎわい”深化事業（～共創で育むよしみのにぎわい～）

採択年月日：令和7年7月1日

1 事業実施者	法人名	有限会社いちごの里よしみ
	住 所	吉見町大字久保田1737番地
	代表者	取締役 金井 久
2 事業の名称	道の駅“まちのにぎわい”深化事業（共創で育むよしみのにぎわい）	
3 地域再生計画の該当事業	ウ 「吉見で働きたい」を実現する事業 オ 「吉見を知りたい」を実現する事業	
4 実施期間	令和7年7月1日 から 令和8年3月31日 まで	
5 事業の概算事業費	(1) 概算事業費	3,000,000 円
	(2) 概算事業費のうち必要最低補助額	100,000 円
	※規模の縮小、自己財源等により事業の実施が可能となる最低限必要である補助金の目安額。	
6 事業の内容	第六次吉見町総合振興計画に基づくみんなで安心して暮らせるまち実現のための計画（地域再生計画）における『ウ「吉見で働きたい」を実現する事業』、『オ「吉見を知りたい」を実現する事業』を実行するため、町の観光拠点である「道の駅いちごの里よしみ」を通じて、地域の活性化をさらに促進し、地域経済の向上や観光振興を深めることを目指す。 事業内容としては、地元農産物や特産品の販売等を通じて、農業・商業・観光関連産業の活性化を図りつつ、既に実施しているイベントをさらに発展・強化させることで、地域の魅力発信と交流機会の拡大を目指す。さらに、観光情報の発信等を実施することで、町外からの来訪者を呼び込み、町の魅力を伝えていきたい。	
7 事業の実施による公益的な効果	観光客の増加 地域の魅力を広く発信することで、町外からの観光客の増加が見込まれ、町の経済が活性化する。 地域ブランドの確立 町の地域資源が適切に発信され、地域ブランドの価値向上が期待される。	
8 対象者、人数、規模等	<u>対象者</u>・・・町民、町外来訪者、地元事業所、観光関係者等 <u>人数、規模（イベント開催時）</u>・・・イベントごとにおおそ1,000～2,000人程度	
9 想定スケジュールと内容	期間：令和7年7月 から 令和8年3月 まで 内容：既存イベントの実施及び内容の検討、発展、強化	
10 必要最低補助額で事業を実施する場合の概要	必要最低補助金額は、100,000 円とする。 この場合においては、従来とおり同内容のイベントを実施し、告知・集客のための宣伝費用に充てる。	
11 備考		

※採択事業に対する企業版ふるさと納税の寄附の検討に当たり、事業内容等についての確認事項がある場合は、吉見町総合政策課政策推進係（TEL 0493-54-5026）までお問合せください。

道の駅“まちのにぎわい”深化事業 ～共創で育むよしみのにぎわい～

事業提案企画書



有限会社いちごの里よしみ

目的

地域住民と観光客が共に集い、にぎわいが持続的に広がる拠点として、道の駅をより深化・強化することで、まちの魅力と活力をさらに高める。

地域の観光拠点として、訪れるすべての人々に地域の魅力を伝え、道の駅を通じてさらなる地域の活性化を目指す。



いちごの里よしみ

目標（期待される効果）

本事業では、以下のような多面的な効果が期待されます。

【地域経済の活性化】

地元農産物や特産品の販売促進により、農業・商業・観光関連産業への波及効果が期待される。

【観光振興と交流人口の増加】

観光情報の発信やイベント開催を通じて町外からの来訪者を呼び込み、町の魅力を広域に伝える拠点として機能。

【地域ブランドの向上】

特産品、自然環境など町ならではの地域資源を発信し、町のイメージ・ブランド力を高める。

【住民の交流と誇りの醸成】

世代を超えた交流や市民活動の場として活用することで、地域内のつながりが深まり、まちへの愛着や誇りを育む。

【持続可能なまちづくりの推進】

官民連携による運営を通じて、日常的なにぎわいと地域全体への活力を生み出す(イベント)、持続可能なまちづくりの中核拠点となる。



いちごの里よしみ

主な取組



体験型、参加型の
イベントの開催



地域団体等と連携した
イベントの企画



情報の発信強化



いちごの里よしみ

イベント①

立教大学×道の駅いちごの里よしみ連携プロジェクト（夏）

目的

地域の魅力が集約される道の駅を「観光振興」や「地域づくり」を学ぶ学生の活動拠点とし、若者の視点による地域の活性化を図る。大学側にとっては、学生の課外活動・就労体験の場、地域にとっては新たな価値の創造につながる双方向の連携を目指す。学生の地域理解と実践的学習を深めると同時に、道の駅の魅力向上とにぎわい創出を図る。

内容、取組

実施形態としては「連携企画型」とし、学生が地域課題の解決策や観光コンテンツの企画提案を行う。

- ・学生による現地調査（道の駅の利用者動向や地域資源の把握）
- ・PR戦略、情報発信手法の検討（SNS投稿、パンフレットの作成など）

【過去の実績】よしみんのずぶぬれフェスティバル(R6)、よしみの道フェスタ(R5)

関係団体

立教大学観光学部、国土交通省関東地方整備局大宮国道事務所
吉見町商工会



いちごの里よしみ

イベント②

道の駅まつり（秋）

目的

吉見町の農産物や特産品、文化など地域が誇る多様な魅力を広く発信することで、来場者に吉見町の良さを再発見してもらい、地域資源の消費拡大やブランド力の向上を図ることを目的としています。
また、町内外から多くの人が集うことで、地域住民と来訪者との新たな交流を生み出し、観光振興や関係人口の拡大にもつなげていきます。

内容、取組

- | | |
|---------------|-------------------|
| 【1】特産品マルシェ | 【2】ご当地グルメ＆キッチンカー |
| 【3】ステージイベント | 【4】体験コーナー・ワークショップ |
| 【5】スタンプラリー など | |

関係団体

JA、吉見町、吉見町商工会



いちごの里よしみ

イベント③

吉見農業まつり（農業祭）（秋）

目的

吉見町の基幹産業である「農業」の振興を図るとともに、町産米をはじめとする地元農産物の魅力を広く発信し、その消費拡大につなげることを目的に寄与することを目的とする。
また、農業の大切さや魅力を次世代に伝え、地域全体で農業を支え育てていく意識の醸成にもつなげていく。

内容、取組

- | | |
|---------------|-------------------|
| 【1】マルシェ、売店ブース | 【2】ご当地グルメ&キッチンカー |
| 【3】ステージイベント | 【4】体験コーナー・ワークショップ |
| 【5】農機展示 など | |

関係団体

JA、農家組合、地域団体（青年部、協議会等）、吉見町 等



イベント④

いちごまつり～莓一会～（冬）

目的

吉見町の特産品である「いちご」を主役に据え、その魅力を町内外へ広く発信することで、地域ブランドの価値向上を図る。このイベントを通じて、町民や観光客が吉見の自然、文化、そして人々とのつながりを再発見し、地域への誇りと愛着を深める場を提供する。

内容、取組

- | | |
|---------------|-------------------|
| 【1】マルシェ、売店ブース | 【2】ご当地グルメ&キッチンカー |
| 【3】ステージイベント | 【4】体験コーナー・ワークショップ |
| 【5】スタンプラリー など | |

関係団体

JA、吉見町、吉見町商工会、イベントに関する後援、協賛企業 等



いちごの里よしみ

その他（情報の発信強化）

広報活動の強化



オフライン広報

- ・ポスター、チラシ、miniガイドブック等の作成



いちごの里よしみ

Thank You!

ありがとうございました



いちごの里よしみ